

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習 I		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年	
授業方法	講義:		演習:	実習: O	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>DCCツールであるAutodesk MAYAの基本を習得し、ローポリゴンモデリングができるようになることを目標とする。</p> <p><前期>Autodesk Mayaに慣れる、モデリングのワークフローを学習し、基本的なモデルが制作できるようになることを目標とする。</p> <p><後期>少ないポリゴン数で、実在する物体を再現できるようになることを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化した総合評価する。</p>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Autodesk Maya ・AdobeCC Photoshop ・webの画像 				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーションMaya初期設定&操作説明【制作】ステージレイアウト	・講師紹介、授業内容等の説明・プリファンス、UI、ディスプレイ設定		
	2	MAYAの基本操作	・オブジェクト作成・基本的なツールの習得1		
	3	プリミティブモデリング	・基本的なツールの習得2		
	4	CSGモデリング	・基本的なツールの習得3・マテリアル設定		
	5	レイアウト	・ボージング(ベアレント化、ピボットの移動など)・ライティング、レンダリング		
	6	UV展開テクスチャマッピング	以降授業では、AdobeCC Photoshop、ペンタブレットを使用・UV展開:平面マッピング		
	7	3Dテクスチャペイントガラス、金属の質感	・UV展開(境目の処理)・aiStandardシェーダで金属・ガラスの質感を学習・Arnoldレンダリング		
	8	ローポリゴンモデリング	・参考資料、イメージ画像の収集について		
	9	UV展開	・UV展開:円柱マッピング		
	10	資料集め	・アンティーク調モデリング(ティーカップ、洋書、古鍵、机など)		
	11	実制作	・モデリング		
	12	レイアウト	・レイアウト		
	13	ライティング	・ライティング		
	14		【前期期末制作】	レンダリング。画像とモデルを提出。	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習 I		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	<p>〈通年〉DCCツールであるAutodesk MAYAの基本を習得し、ローポリゴンモデリングができるようになることを目標とする。</p> <p>〈前期〉Autodesk Mayaに慣れる、モデリングのワークフローを学習し、基本的なモデルが制作できるようになることを目標とする。</p> <p>〈後期〉少ないポリゴン数で、実在する物体を再現できるようになることを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Autodesk Maya ・AdobeCC Photoshop ・webの画像 				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	プロダクトモデリング	・身近なプロダクトのモデリング		
	2	ハードサーフェスモデリング	・身近なプロダクトのモデリングとライティング		
	3	ライティングとレンダリング	・ライティングとArnoldレンダリング		
	4	ハードサーフェスモデリング	・有機体ではないプロダクトのモデリング		
	5	ライティングとレンダリング	・ライト設定とレンダリング		
	6	モジュラーアセット	単位ごとに区切られていて、まとめると違うものが出来上がるモデリング。		
	7	少ないポリゴンでのモデリング	1つ目完成。少ないポリゴン数での制作を心掛ける。		
	8	テイストの統一	2つ目完成。1つ目との関連性を持たせて制作する。		
	9	モデルの組み込み	3~4つ目完成。1、2個目と組み合わせ、一つの作品に仕上げる。		
	10	ゲームアセット制作	・ゲームを意識した制限のあるステージ制作		
	11	プロップ制作	ステージの小物制作		
	12	レイアウト	ステージ全体を制作し、プロップを配置。		
	13	ライティングとレンダリング	レイアウト+ライティング。		
	14	【後期期末制作】	レンダリング。CG画像とモデル提出。		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	MOS演習 I		指導担当者名	渡邊 惇基
実務経験	有	PCインストラクターとして3年従事		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p>・MOS Word、Excelの取得を目標とする。 * CG1,3年、espo合同授業</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは。A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段かとする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	・制作ツール			
授業外学習の方法	過去問題復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	現状のポートフォリオの合評	
	2	第1章 Wordの基礎知識1	Step1 Wordの概要Step2 Wordを起動するStep3 文書を開く	
	3	第1章 Wordの基礎知識2	Step4 Wordの画面構成Step5 文書を閉じるStep6 Wordを終了する	
	4	第2章 文字の入力2	Step1 新しい文書を作成するStep2 IMEを設定するStep3 文字を入力する	
	5	第2章 文字の入力3	Step4 文字を変換するStep5 文章を変換するStep6 文書を保存する	
	6	第3章 文書の作成1	Step1 作成する文書を確認するStep2 ページのレイアウトを設定するStep3 文章を入力する	
	7	第3章 文書の作成2	Step4 範囲を選択するStep5 文字を削除・挿入するStep6 文字をコピー・移動するStep7 文章の体裁を整えるStep8 文書を印刷する	
	8	第3章 文書の作成3	練習問題	
	9	第4章 表の作成1	Step1 作成する文書を確認するStep2 表を作成するStep3 表の範囲を選択する	
	10	第4章 表の作成2	Step4 表のレイアウトを変更するStep5 表に書式を設定するStep6 表にスタイルを適用するStep7 水平線を挿入する	
	11	第4章 表の作成3	練習問題	
	12	第5章 グラフィック機能の利用1	Step1 作成する文書を確認するStep2 ワードアートを挿入するStep3 画像を挿入する	
	13	第5章 グラフィック機能の利用2	Step4 文字の効果を設定するStep5 ページ罫線を設定する練習問題	
	14		Word試験	外部受験
<p>履修上の留意点 ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施</p>				

授業計画(シラバス)

科目名	MOS演習 I		指導担当者名	渡邊 惇基	
実務経験	有	PCインストラクターとして3年従事			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年	
授業方法	講義:	0	演習:	0	実習: ○
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	<p>・MOS Word、Excelの取得を目標とする。 * CG1,3年、espo合同授業</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段かとする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	過去問題復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後期	1	第1章 Excelの基礎知識1	Step1 Excelの概要Step2 Excelを起動するStep3 ブックを開くStep4 Excelの画面構成		
	2	第1章 Excelの基礎知識2	Step5 ブックを操作するStep6 ブックを閉じるStep7 Excelを終了する		
	3	第2章 データの入力1	Step1 新しいブックを作成するStep2 データを入力するStep3 データを編集するStep4 セル範囲を選択するStep5 ブックを保存するStep6 オートフィルを利用する		
	4	第2章 データの入力2	練習問題		
	5	第3章 表の作成1	Step1 作成するブックを確認するStep2 関数を入力するStep3 セルを参照するStep4 表にレイアウトを設定する		
	6	第3章 表の作成2	Step5 データを装飾するStep6 配置を調整するStep7 列の幅を変更するStep8 行を挿入・削除するStep9 表を印刷する		
	7	第3章 表の作成3	練習問題		
	8	第4章 グラフの作成1	Step1 作成するグラフを確認するStep2 グラフ機能の概要Step3 円グラフを作成するStep4 縦棒グラフを作成する		
	9	第4章 グラフの作成2	練習問題		
	10	第5章 データベースの利用1	Step1 操作するデータベースを確認するStep2 データベース機能の概要Step3 データを並べ替えるStep4 データを抽出する		
	11	第5章 データベースの利用2	練習問題		
	12	過去問題1	MOS模試1		
	13	過去問題2	MOS模試2		
	14	Excel試験	外部受験		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	キャラクター制作実習 I		指導担当者名	渡邊 惇基
実務経験	有	ゲーム制作業界、eスポーツ業界にて各種イベント運営・設営、開発を5年経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	キャラクターのデザイン、描き方をまなぶ。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段かとする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	オリジナル教材のプリント配布			
授業外学習の方法	自宅での実習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	年間インフォメーション 指示書の読み解き方 ファンアートと仕事絵の違い	
	2	イラスト制作のコツ	イラストポートフォリオを作る12のコツ、チーム制作で知っておくべき7ヶ条	
	3	色彩基礎	初心者のための色彩講座、絵を上達させる3つのイラストデッサンのコツ	
	4	アタリの取り方	アタリの取り方講座、パーツのイメージから考える！キャラクターを描き分ける方法	
	5	喜怒哀楽	ポーズでキャラ性を描き分ける！性格別の喜怒哀楽	
	6	顔の描き方	初心者の「なぜか上手く描けない」を解決！顔の描き方テクニック-実践編-	
	7	ポーズの描き方	初心者の「なぜか上手く描けない」を解決！ポーズの描き方テクニック編	
	8	全身の描き方	初心者の「なぜか上手く描けない」を解決！全身の描き方テクニック-実践編-	
	9	構図の基礎	イラストが映える黄金比は存在する！覚えておきたい構図の基本3選	
	10	仕上げテク。構図編	簡単にイラストを上手く見せるテクニック-構図編-	
	11	仕上げテク。ポーズ編	簡単にイラストを上手く見せるテクニック -ポーズ編-	
	12	多人数構図	多人数をどうやって配置する？複数キャラクターの構図集	
	13	デフォルメキャラクタ	デフォルメキャラクターの描き方	
	14	期末試験	喜怒哀楽だけじゃ足りない！？豊富な表情バリエーションの作り方	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	キャラクター制作実習 I		指導担当者名	渡邊 惇基	
実務経験	有	ゲーム制作業界、eスポーツ業界にて各種イベント運営・設営、開発を5年経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	キャラクターのデザイン、描き方をまなぶ。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績表かは。A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段かとする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p> <p>上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	オリジナル教材のプリント配布				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	顔の描き方	「顔の描き方」をマスターする7つのポイント		
	2	光と影	基礎力UP！立体感を表現する際に必要な2種類の光を覚えよう		
	3	立体感の表現法	OK例とNG例で理解度UP！線画で立体感を表現する3つのコツ		
	4	配色	配色の比率は70:25:5！キャラクター配色の決め方 基本編		
	5	陰影	悪者は下からライトアップ！印象を変える影の付け方		
	6	デジタル彩色	厳選！デジタル絵で覚えておきたい塗り方4種類		
	7	イラストアイデアの出し方	テーマ:「夏」イラストのアイデアのヒント		
	8	擬人化	モチーフの魅力を引き出す擬人化キャラの描き方		
	9	人物のアタリ	輪切りにするとよく分かる！人物のアタリの取り方のコツ		
	10	顔の男女描き分け	髪型で誤魔化さない！男女の顔の描き分け講座		
	11	イラストの仕上げ	密度の高め方を理解！豪華なイラストを描く3つのコツ		
	12	ポージング応用	棒立ちからの脱却！キャラの魅力を引き出すポージングのコツ4選		
	13	進化描き分け	ゲームキャラの「進化」で考える！イラストを豪華に魅せる5つのコツ		
	14	期末試験	恋愛の「ドキッ」と感も出せる！？キャラクターが生きる構図の作り方		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	ゲームエンジン実習 I	指導担当者名	溝井 光司
実務経験	有 ゲームアプリ制作業務に従事、9年目継続中		
開講時期	通年 28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実技:
年間時間数	84 時間		週時間数 3 時間
学習到達目標	ScratchやUnityを通してプログラミングの基礎を学び、ゲームエンジンを用いたコンテンツ制作についての足がかりを作る。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>		
使用教材	Unity, Scratch, Unityの教科書, Scratch3.0入門		
授業外学習の方法	自宅での実習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	前期振り返り	前期期間内容の確認
	2	Chapter4 ステートグラフとアニメーション1	
	3	Chapter4 ステートグラフとアニメーション2	
	4	Chapter4 ステートグラフとアニメーション3	
	5	Chapter4 ステートグラフとアニメーション1	
	6	Chapter5 ヒューマノイドとエフェクト1	
	7	Chapter5 ヒューマノイドとエフェクト2	
	8	Chapter5 ヒューマノイドとエフェクト3	5-3 複製効果を利用しよう パーティクルシステムの利用 イベントでパーティクルを再生する 「Start」スタートを作成する エミッタの抽出について フォグの操作
	9	Chapter5 ヒューマノイドとエフェクト4	
	10	Chapter6 ゲームに必要な機能を考える1	
	11	Chapter6 ゲームに必要な機能を考える2	6-2 ハイスコアを保存しよう ハイスコアを記録したい! Save変数を使う スクリプトを作成する 動作を確認する ハイスコアを保存する ハイスコアのチェック機能を実装する ハイスコア設定のウィンドウを作成する
	12	Chapter6 ゲームに必要な機能を考える3	
	13	Chapter6 ゲームに必要な機能を考える4	6-4 ゲームの設定を用意しよう ゲームの設定を作ろう パネルを作成する スライダーを用意する ボタンを配置する パネルの調整
	14	後期確認	後期機関内容の確認
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 			

授業計画(シラバス)

科目名	アニメーション実習 I		指導担当者名	服部 真奈美
実務経験	有	アニメ制作業務に32年間従事、現在はフリーで継続		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	実際に描きながらアニメーションの基礎(人物の動きの構造の知識)を得てアニメーションが手描きでできるようになることを目標とする。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化した総合評価する。</p>			
使用教材	①ショートアニメーションメイキング講座 ②京都アニメーション版作画の手引き ③アニメ作画のしくみ			
授業外学習の方法	自宅での実習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	講師と学生の自己紹介、授業の目標、用具や用語確認	
	2	アニメーションの基礎知識	フルアニメとリミテッドアニメの違い(参考映像)	
	3	アニメーションの基礎知識	原画と中割、ツメと軌道の考え方	
	4	アニメーションの基礎知識	振り子とボールの動き	
	5	歩きの基本	人間の基本的な歩き方の要点(実際に動いてみる)	
	6	歩きの基本	コンタクト、ダウン、パッシング、アップ	
	7	歩きの基本	ダウン、パッシング、アップ時に重心が移動する。	
	8	歩きの基本	手首と肘を使い、腕のせんたんと根本の肩の動きをずらす。	
	9	歩きの基本	腰の左右動のバランスをとるように設定	
	10	走りの基本	人間の基本的な走り方の要点(実際に動いてみる)	
	11	走りの基本	走りの基本知識を習得	
	12	走りの基本	戻るをベースに、縮むと体が沈む、伸ばすで体は前に	
	13	走りの基本	走りの作画	
	14	前期総括	前期作画の要点振り返りと注意点	
履修上の留意点 ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	アニメーション実習 I		指導担当者名	服部 真奈美	
実務経験	有	アニメ制作業務に32年間従事、現在はフリーで継続			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	実際に描きながらアニメーションの基礎(人物の動きの構造の知識)を得てアニメーションが手描きでできるようになることを目標とする。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	①ショートアニメーションメイキング講座 ②京都アニメーション版作画の手引き ③アニメ作画のしくみ				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	振り向きの基本	基本的な振り向きの要点(実際に動いてみる)		
	2	目が先行	振り向きのメカニズム1 目が先行		
	3	首が回転	振り向きのメカニズム2 首が回転し、顔がこちらを向く		
	4	髪がついてくる	振り向きのメカニズム3 髪が動く		
	5	反動が来る	振り向きのメカニズム4 反動		
	6	ジャンプの基本	基本的なジャンプの要点(実際に動いてみる)		
	7	予備動作	ジャンプの前の動き解説		
	8	引き延ばすつづし	重力を感じさせない動き		
	9	つぶす	重力を感じさせる動き		
	10	イーズイン、イーズアウト	ゆっくり始まり、ゆっくりとまる		
	11	「送り」について	旗のなびきや煙、波などの動きの考え方		
	12	棒が先行	動きのもとを先に動かす		
	13	旗が後から動く	後から柔らかい物が動く		
	14	後期総括	後期作画の要点振り返りと注意点		
履修上の留意点 ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	CG概論Ⅱ		指導担当者名	大槻 晃士
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>CGARTS協会 CGエンジニア検定ベーシックの合格を目標とする。 <前期>CG・画像処理などの基礎知識・技術を学習し、期末試験での合格を目標とする。 <後期>過去問題、公式問題集の実施・解説を通じて知識の確認を毎週行い、検定試験の合格を目標とする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	・CGARTS協会 ビジュアル情報処理			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション, Chapter1①	デジタルカメラモデル①	
	2	Chapter1②	デジタルカメラモデル②	
	3	Chapter2①	モデリング①	
	4	Chapter2②	モデリング②	
	5	Chapter3①	レンダリング①	
	6	Chapter3②	レンダリング②	
	7	Chapter4①	アニメーション①	
	8	Chapter4②	アニメーション②	
	9	Chapter5①	画像の濃淡返還とフィルタリング処理①	
	10	Chapter5②	画像の濃淡返還とフィルタリング処理②	
	11	Chapter6①	画像の解析①	
	12	Chapter6②	画像の解析②	
	13	【期末模擬問題】	各Chapter復習のための小テスト	
	14	【前期期末試験】	Chapter1~6を範囲として期末試験	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	CG概論Ⅱ		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:	○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>CGARTS協会 CGエンジニア検定ベーシックの合格を目標とする。 <前期>CG・画像処理などの基礎知識・技術を学習し、期末試験での合格を目標とする。 <後期>過去問題、公式問題集の実施・解説を通じて知識の確認を毎週行い、検定試験の合格を目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・CGARTS協会 ビジュアル情報処理				
授業外学習の方法	教科書復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後期	1	Chapter7	パターン・特徴の検出とパターン認識		
	2	Chapter8	シーンの復元		
	3	Chapter9	ビジュアル情報処理システム		
	4	知的財産権, 2018年後期問題	知的財産権の復習、過去問題回答と解説		
	5	2019前期問題	過去問題回答と解説		
	6	2019後期問題	過去問題回答と解説		
	7	2020後期問題	過去問題回答と解説		
	8	2021前期問題	過去問題回答と解説		
	9	2021後期問題	過去問題回答と解説		
	10	2022前期問題	過去問題回答と解説		
	11	2022後期問題	過去問題回答と解説		
	12	2023前期問題	過去問題回答と解説		
	13	個別指導	個人別弱点特攻授業		
	14	直前模試	キーワードのおさらい、模擬試験		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	ゲームエンジン実習Ⅱ		指導担当者名	溝井 光司	
実務経験	有	ゲームアプリ制作業務に従事、9年目継続中			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	実制作を通してゲームエンジンを用いたコンテンツ制作の流れを理解し、発展的な技術を身につける。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	Unity, HTC Vive				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業内容の説明と環境構築		
	2	2Dプラットフォーム	2Dゲーム制作		
	3	システム設計	ゲーム内容の決定		
	4	仕様	ゲームシステムのルール決め		
	5	コーディング	プログラミング		
	6	ポストエフェクト、デバッグ	後処理する特殊効果、デバッグ		
	7	制作発表	制作したゲームのプレゼン、試遊。課題提出		
	8	Unityでゲーム制作	学園祭の出し物向けゲームコンテンツ制作		
	9	チーム分け、企画開始	チーム分けと企画開始		
	10	アセット制作	各パート事制作		
	11	アセット制作	各パート事制作		
	12	進捗確認	制作状況の確認		
	13	デバッグ	最終デバッグ		
	14	制作発表、期末提出	試遊、課題提出		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	ゲームエンジン実習Ⅱ		指導担当者名	溝井 光司	
実務経験	有	ゲームアプリ制作業務に従事、9年目継続中			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	実制作を通してゲームエンジンを用いたコンテンツ制作の流れを理解し、発展的な技術を身につける。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	Unity, HTC Vive				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	VRコンテンツ制作	VRについての解説、企画検討材料の提供		
	2	企画制作	VRならではのコンテンツ企画制作		
	3	アセット制作	各パート事の制作		
	4	アセット制作	各パート事の制作		
	5	中間発表	各パートリーダーの発表		
	6	アセット制作	各パート事の制作		
	7	アセット制作	各パート事の制作		
	8	VRコンテンツ発表	試遊、課題提出		
	9	自由制作	チームを組み、ゲーム制作		
	10	企画制作	オリジナルゲーム企画制作		
	11	アセット制作	各パートごとの制作		
	12	中間発表	各パートリーダーによる発表		
	13	デバッグ	デバッグ		
	14	制作発表、期末提出	試遊、課題提出		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	アニメーション実習Ⅱ		指導担当者名	服部 真奈美	
実務経験	有	アニメ制作業務に32年間従事、現在はフリーで継続			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	映像作品制作とコンペ出品				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	オリジナル教材のプリント配布				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目標と参加予定コンペについて(コンペサイトと過去受賞作品の確認)		
	2	テーマ制作	テーマ発表		
	3	絵コンテ	絵コンテ制作。実際に動き、キーポーズを抑え作画。		
	4	動画コンテ	動画コンテ制作。編集ソフトを使い、全体の動きがわかるように時間調整をする。		
	5	作画開始	作画開始。骨、筋肉を意識しキーポーズの作画をしていく。		
	6	動画作業	作画。個別指導。		
	7	動画作業	作画。クリンナップや仕上げを意識し、線を繋いでいく。		
	8	動画チェック	動画チェック。作画崩壊、線繋ぎを気を付けているかチェック。		
	9	動画作業	作画。個別指導		
	10	仕上げ	デジタルソフトでのクリンナップ、色塗り		
	11	編集	動画コンテを差し替えていくように、実際の時間に合わせていく。		
	12	ポストエフェクト	エフェクト合成作業		
	13	書き出し	レンダリング		
	14	期末提出	書き出した動画上映、提出		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	アニメーション実習Ⅱ		指導担当者名	服部 真奈美	
実務経験	有	アニメ制作業務に32年間従事、現在はフリーで継続			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	映像作品制作とコンペ出品				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	オリジナル教材のプリント配布				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	テーマ制作	テーマ発表と制作		
	2	絵コンテ	絵コンテ制作。実際に動き、キーポーズを抑え作画。		
	3	動画コンテ	動画コンテ制作。編集ソフトを使い、全体の動きがわかるように時間調整をする。		
	4	作画開始	作画開始。骨、筋肉を意識しキーポーズの作画をしていく。		
	5	動画作業	作画。個別指導。		
	6	動画作業	作画。クリンナップや仕上げを意識し、線を繋いでいく。		
	7	動画チェック	動画チェック。作画崩壊、線繋ぎを気を付けているかチェック。		
	8	動画作業	作画。個別指導		
	9	動画作業	作画。個別指導		
	10	仕上げ	デジタルソフトでのクリンナップ、色塗り		
	11	編集	動画コンテを差し替えていくように、実際の時間に合わせていく。		
	12	ポストエフェクト	エフェクト合成作業		
	13	期末提出	書き出されてアニメーションの提出		
	14	レビュー	学生動画上映とレビュー		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習Ⅱ		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	168 時間			週時間数	6 時間
学習到達目標	<p><通年>作品の制作スピード、クオリティの向上を目標とする。 <前期>Substance3DPainter、Autodesk Mudboxの基本を学習し、新しい表現が出来るようになることを目標とする。 <後期>Mayaと連携した制作を行い、クオリティの高い作品が出来ることを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	<p>・Autodesk Maya、Mudbox、AdobeCC Photoshop、Substance3DPainter ・webの画像</p>				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション、3Dテクスチャペイント①	Substance3DPainterの機能1		
	2	3Dテクスチャペイント②	Substance3DPainterの機能2		
	3	3Dテクスチャペイント③	基本ツールの習得		
	4	3Dテクスチャペイント④	基本ツールの習得		
	5	3Dテクスチャペイント⑤	基本ツールの習得		
	6	3Dテクスチャペイント⑥	基本ツールの習得		
	7	スカルプト①	Mudboxの基本機能①		
	8	スカルプト②	Mudboxの基本機能②		
	9	スカルプト③	基本ツールの習得		
	10	スカルプト④	基本ツールの習得		
	11	スカルプト⑤	基本ツールの習得		
	12	スカルプト⑥	基本ツールの習得		
	13	スカルプト⑦	基本ツールの習得		
	14		【前期期末制作】	レンダリング、CG画像とモデルを提出	
<p>履修上の留意点 ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施</p>					

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習 II		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	168 時間		週時間数	6 時間	
学習到達目標	<p><通年>作品の制作スピード、クオリティの向上を目標とする。 <前期>Substance3DPainter、Autodesk Mudboxの基本を学習し、新しい表現が出来るようになることを目標とする。 <後期>Mayaと連携した制作を行い、クオリティの高い作品が出来ることを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Autodesk Maya、Mudbox、AdobeCC Photoshop、Substance3DPainter ・webの画像 				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	ハードサーフェスモデリング1	Substance3DPainter、Mudbox、Mayaなど各ソフトを使用・連携した制作		
	2	ハードサーフェスモデリング2	Substance4DPainter、Mudbox、Mayaなど各ソフトを使用・連携した制作		
	3	ハードサーフェスモデリング3	Substance5DPainter、Mudbox、Mayaなど各ソフトを使用・連携した制作		
	4	ハードサーフェスモデリング4	Substance6DPainter、Mudbox、Mayaなど各ソフトを使用・連携した制作		
	5	ハードサーフェスモデリング5	Substance7DPainter、Mudbox、Mayaなど各ソフトを使用・連携した制作		
	6	ライティング、レンダリング	ライト設定とレンダリング		
	7	アセット制作1	「モジュラーアセット」の制作、アセットの組み合わせで新しいアセットの構築		
	8	アセット制作2	「モジュラーアセット」の制作、アセットの組み合わせで新しいアセットの構築		
	9	アセット制作3	ゲームを意識した制限のあるステージ制作		
	10	アセット制作4	ゲームを意識した制限のあるステージ制作		
	11	レイアウト1	ステージ全体を制作し、プロップを配置		
	12	レイアウト2	ステージ全体を制作し、プロップを配置		
	13	レイアウト3	ステージ全体を制作し、プロップを配置		
	14		【後期期末制作】	レンダリング、CG画像とモデル提出	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	キャラクター制作実習Ⅱ		指導担当者名	渡邊 惇基	
実務経験	有	ゲーム制作業界、eスポーツ業界にて各種イベント運営・設営、開発を5年経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	キャラクターのデザイン、描き方をまなぶ。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	オリジナル教材のプリント配布				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	年間インフォメーション 指示書の読み解き方 ファンアートと仕事絵の違い		
	2	人物のアタリ	輪切りにするとよく分かる！人物のアタリの取り方のコツ		
	3	光と影	基礎力UP！立体感を表現する際に必要な2種類の光を覚えよう		
	4	喜怒哀楽	ポーズでキャラ性を描き分ける！性格別の喜怒哀楽		
	5	仕上げテク。構図編	簡単にイラストを上手く見せるテクニック-構図編-		
	6	仕上げテク。ポーズ編	簡単にイラストを上手く見せるテクニック -ポーズ編-		
	7	擬人化	モチーフの魅力を引き出す擬人化キャラの描き方		
	8	構図の基礎	イラストが映える黄金比は存在する！覚えておきたい構図の基本3選		
	9	イラストの仕上げ	密度の高め方を理解！豪華なイラストを描く3つのコツ		
	10	キャラクタ設定	キャラクタ設定はキャラクタの履歴書作成		
	11	3DCGを意識したキャラクタデザイン	3面図やイラストでは見えない、裏のディテール描きこみ		
	12	プロップ	キャラクタを魅力的にする小物		
	13	自己制作	オリジナルキャラクタの創出とキャラ設定制作		
	14	期末試験	オリジナルキャラクタの設定を基に、イラスト制作。提出。		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	キャラクター制作実習Ⅱ		指導担当者名	渡邊 惇基	
実務経験	有	ゲーム制作業界、eスポーツ業界にて各種イベント運営・設営、開発を5年経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	キャラクターのデザイン、描き方をまなぶ。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	オリジナル教材のプリント配布				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	シルエットで描く	グリザイユ画法の初期段階で、キャラクタとして成立させる。		
	2	配色	配色の比率は70:25:5! キャラクター配色の決め方 基本編		
	3	陰影	悪者は下からライトアップ! 印象を変える影の付け方		
	4	コンセプトアートのあるキャラクタ設定	コンセプトアートを読み取り、設定を起こす		
	5	コンセプトアートのあるキャラクタ設定	実際にキャラクタ設定を起こす。名前、住んでいる地域、特技等		
	6	イラスト制作	キャラクタ設定を基にイラスト制作		
	7	合評と提出	それぞれ制作したものを見せ合う。課題提出		
	8	世界観があるキャラクタ設定	細かな設定がある状態から、いかにしてアイデアを出すか		
	9	世界観があるキャラクタ設定	アイデアを基にキャラクタ設定をする。		
	10	イラスト制作	キャラクタ設定を基にイラスト制作		
	11	仕上げ	イラストのポストエフェクトを掛け、仕上げる。		
	12	合評と提出	制作物を見せ合う。課題提出。		
	13	自己制作	オリジナルキャラクタの創出とキャラ設定制作		
	14	期末試験	オリジナルキャラクタの設定を基に、イラスト制作。提出。		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルコンテンツ制作実習Ⅲ		指導担当者名	三上 洋平
実務経験	有	ゲーム制作業界、CG制作業界で5年以上の経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	252 時間		週時間数	9 時間
学習到達目標	・各自希望業種に向けた作品集(ポートフォリオ)の完成を目標とする。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	・制作ツール			
授業外学習の方法	自宅での実習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	1年間かけて、CGを使った制作をしてもらう旨伝える。	
	2	制作コンテンツ企画	制作テーマの企画	
	3	企画発表	企画発表	
	4	コンテンツ制作	実制作	
	5	進捗確認発表会	制作物についての発表会	
	6	コンテンツ制作	実制作	
	7	合評会	合評形式での発表	
	8	コンテンツ制作	実制作	
	9	レビュー	テーマに応じて、改善ポイントのレビュー	
	10	コンテンツ制作	実制作	
	11	進捗確認発表会	制作物についての発表会	
	12	コンテンツ制作	実制作	
	13	コンテンツ制作	実制作	
	14	期末発表会	前期制作物の発表、提出	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルコンテンツ制作実習Ⅲ		指導担当者名	三上 洋平	
実務経験	有	ゲーム制作業界、CG制作業界で5年以上の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	252 時間		週時間数	9 時間	
学習到達目標	・各自希望業種に向けた作品集(ポートフォリオ)の完成を目標とする。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	企画確認会	後期制作物の企画確認		
	2	企画発表	企画発表		
	3	コンテンツ制作	実制作		
	4	進捗確認発表会	制作物についての発表会		
	5	コンテンツ制作	実制作		
	6	合評会	合評形式での発表		
	7	コンテンツ制作	実制作		
	8	レビュー	テーマに応じて、改善ポイントのレビュー		
	9	コンテンツ制作	実制作		
	10	進捗確認発表会	制作物についての発表会		
	11	コンテンツ制作	実制作		
	12	コンテンツ制作	実制作		
	13	期末発表会	前期制作物の発表、提出		
	14	最終合評会	各自研究テーマについて発表、相互レビュー		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	CG概論Ⅲ		指導担当者名	大槻 晃士
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>CGARTS協会 CGクリエイター検定エキスパートの合格を目標とする。 <前期>ベーシックより深くCGの知識・技術を学習し、期末試験での合格を目標とする。 <後期>過去問題、公式問題集の実施・解説を通じて知識の確認を毎週行い、検定試験の合格を目標とする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・CGARTS協会 デジタル映像表現 ・CGARTS協会 問題集 			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション第1章①	実写撮影<動画撮影の基礎1>	
	2	第1章②	実写撮影<動画撮影の基礎2>	
	3	第2章	映像編集<映像編集の基礎~映像と音の演出>	
	4	【定期試験】第3章①	モデリング<モデリングの基礎>	
	5	第3章②	モデリング<モデリング手法~モデリングの実際>	
	6	第4章	リギング<リギングの基礎~リギングの実際>	
	7	【定期試験】第5章①	CGアニメーション<CGアニメーションの基礎~CGアニメーションの手法>	
	8	第5章②	CGアニメーション<キャラクターアニメーション~CGアニメーションの実際>	
	9	第6章①	シーン構築<マテリアル表現~レンダリング>	
	10	第6章②【定期試験】	シーン構築<合成(コンポジット)>	
	11	第7章	リアルタイムCG<リアルタイムCGの基礎>	
	12	第8章第9章	プロダクションワーク<作品制作におけるプロダクションワーク>著作権	
	13	【期末模擬問題】	テキスト全体の復習のための小テスト	
	14	【前期期末試験】	テキスト全体を範囲として期末試験	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	CG概論Ⅲ		指導担当者名	大槻 晃士
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年
授業方法	講義:	○	演習:	実習: 実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>CGARTS協会 CGクリエイター検定エキスパートの合格を目標とする。 <前期>ベーシックより深くCGの知識・技術を学習し、期末試験での合格を目標とする。 <後期>過去問題、公式問題集の実施・解説を通じて知識の確認を毎週行い、検定試験の合格を目標とする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・CGARTS協会 デジタル映像表現 ・CGARTS協会 問題集 			
授業外学習の方法	教科書復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後期	1	前期復習	テキスト全体を総復習	
	2	2019年前期問題	過去問題回答と解説	
	3	2019年後期問題	過去問題回答と解説	
	4	2020年後期問題	過去問題回答と解説	
	5	2017年後期	過去問題回答と解説	
	6	2021年前期問題	過去問題回答と解説	
	7	2018年後期問題	過去問題回答と解説	
	8	2018年前期問題	過去問題回答と解説	
	9	2021年前期問題	過去問題回答と解説	
	10	2021年後期問題	過去問題回答と解説	
	11	2022年前期問題	過去問題回答と解説	
	12	2022年後期問題	過去問題回答と解説	
	13	個別指導	個人別弱点特攻授業	
	14	直前模試		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	MOS演習 II		指導担当者名	渡邊 惇基	
実務経験	有	PCインストラクターとして3年従事			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	<p>・MOS Word、Excelの取得を目標とする。 * CG1,3年、espo合同授業</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	過去問題復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	現状のポートフォリオの合評		
	2	第1章 Wordの基礎知識1	Step1 Wordの概要Step2 Wordを起動するStep3 文書を開く		
	3	第1章 Wordの基礎知識2	Step4 Wordの画面構成Step5 文書を閉じるStep6 Wordを終了する		
	4	第2章 文字の入力2	Step1 新しい文書を作成するStep2 IMEを設定するStep3 文字を入力する		
	5	第2章 文字の入力3	Step4 文字を変換するStep5 文章を変換するStep6 文書を保存する		
	6	第3章 文書の作成1	Step1 作成する文書を確認するStep2 ページのレイアウトを設定するStep3 文章を入力する		
	7	第3章 文書の作成2	Step4 範囲を選択するStep5 文字を削除・挿入するStep6 文字をコピー・移動するStep7 文章の体裁を整えるStep8 文書を印刷する		
	8	第3章 文書の作成3	練習問題		
	9	第4章 表の作成1	Step1 作成する文書を確認するStep2 表を作成するStep3 表の範囲を選択する		
	10	第4章 表の作成2	Step4 表のレイアウトを変更するStep5 表に書式を設定するStep6 表にスタイルを適用するStep7 水平線を挿入する		
	11	第4章 表の作成3	練習問題		
	12	第5章 グラフィック機能の利用1	Step1 作成する文書を確認するStep2 ワードアートを挿入するStep3 画像を挿入する		
	13	第5章 グラフィック機能の利用2	Step4 文字の効果を設定するStep5 ページ罫線を設定する練習問題		
	14	Word試験	外部受験		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	MOS演習 II		指導担当者名	渡邊 惇基
実務経験	有	PCインストラクターとして3年従事		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間
学習到達目標	<p>・MOS Word、Excelの取得を目標とする。 * CG1,3年、espo合同授業</p>			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	・制作ツール			
授業外学習の方法	過去問題復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後期	1	第1章 Excelの基礎知識1	Step1 Excelの概要Step2 Excelを起動するStep3 ブックを開くStep4 Excelの画面構成	
	2	第1章 Excelの基礎知識2	Step5 ブックを操作するStep6 ブックを閉じるStep7 Excelを終了する	
	3	第2章 データの入力1	Step1 新しいブックを作成するStep2 データを入力するStep3 データを編集するStep4 セル範囲を選択するStep5 ブックを保存するStep6 オートフィルを利用する	
	4	第2章 データの入力2	練習問題	
	5	第3章 表の作成1	Step1 作成するブックを確認するStep2 関数を入力するStep3 セルを参照するStep4 表にレイアウトを設定する	
	6	第3章 表の作成2	Step5 データを装飾するStep6 配置を調整するStep7 列の幅を変更するStep8 行を挿入・削除するStep9 表を印刷する	
	7	第3章 表の作成3	練習問題	
	8	第4章 グラフの作成1	Step1 作成するグラフを確認するStep2 グラフ機能の概要Step3 円グラフを作成するStep4 縦棒グラフを作成する	
	9	第4章 グラフの作成2	練習問題	
	10	第5章 データベースの利用1	Step1 操作するデータベースを確認するStep2 データベース機能の概要Step3 データを並べ替えるStep4 データを抽出する	
	11	第5章 データベースの利用2	練習問題	
	12	過去問題1	MOS模試1	
	13	過去問題2	MOS模試2	
	14	Excel試験	外部受験	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習Ⅲ		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年	
授業方法	講義:		演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	<p><通年>アニメーション、作品クオリティの向上を目標とする。 <前期>リギングのセットアップ、アニメーションを制作し、アニメーションの基本的な動きや表現ができることを目標とする。 <後期>実際の制作に則った仕様書をもとに作品制作を行うことを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Autodesk Maya、Mudbox、AdobeCC Photoshop、Substance3DPainter ・webの画像 				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション、キーフレームアニメーション1	プリミティブを使用したアニメーション		
	2	キーフレームアニメーション2	プリミティブを使用したアニメーション		
	3	リギング1	ジョイントの作成、リネーム、ベアレント		
	4	リギング2	ジョイントの方向付け		
	5	リギング3	ジョイントの方向付け		
	6	リギング4	ウェイトペイント		
	7	リギング5	ウェイトペイント		
	8	キャラクターモーション1	基本的な動きの作成		
	9	キャラクターモーション2	基本的な動きの作成		
	10	キャラクターモーション3	基本的な動きの作成		
	11	キャラクターモーション4	基本的な動きの作成		
	12	キャラクターモーション5	基本的な動きの作成		
	13	キャラクターモーション6	基本的な動きの作成		
	14		【前期期末制作】	レンダリング、制作物の提出	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	3DCG実習Ⅲ		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	84 時間		週時間数	3 時間	
学習到達目標	<p><通年>アニメーション、作品クオリティの向上を目標とする。 <前期>リギングのセットアップ、アニメーションを制作し、アニメーションの基本的な動きや表現ができることを目標とする。 <後期>実際の制作に則った仕様書をもとに作品制作を行うことを目標とする。</p>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	<p>・Autodesk Maya、Mudbox、AdobeCC Photoshop、Substance3DPainter ・webの画像</p>				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	仕様に沿った制作1	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	2	仕様に沿った制作2	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	3	仕様に沿った制作3	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	4	仕様に沿った制作4	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	5	仕様に沿った制作5	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	6	仕様に沿った制作6	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	7	仕様に沿った制作7	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	8	仕様に沿った制作8	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	9	仕様に沿った制作9	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	10	仕様に沿った制作10	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	11	仕様に沿った制作11	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	12	仕様に沿った制作12	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	13	仕様に沿った制作13	仕様書に沿った実践的なモデル制作		
	14	【後期期末制作】	レンダリング、CG画像とモデル提出		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルコンテンツ制作実習Ⅳ		指導担当者名	三上 洋平
実務経験	有	ゲーム制作業界、CG制作業界で5年以上の経験		
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:
年間時間数	588 時間		週時間数	21 時間
学習到達目標	・各自希望業種に向けた作品集(ポートフォリオ)の完成を目標とする。			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>			
使用教材	・制作ツール			
授業外学習の方法	自宅での実習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	1年間かけて、CGを使った制作をしてみよう旨伝える。	
	2	ポートフォリオ用作品制作Ⅰ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	3	ポートフォリオ用作品制作Ⅰ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	4	ポートフォリオ用作品制作Ⅰ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	5	ポートフォリオ用作品制作Ⅰ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	6	ポートフォリオ用作品制作Ⅰ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	7	進捗確認	作品について合評会	
	8	ポートフォリオ用作品制作Ⅱ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	9	ポートフォリオ用作品制作Ⅱ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	10	ポートフォリオ用作品制作Ⅱ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	11	ポートフォリオ用作品制作Ⅱ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	12	ポートフォリオ用作品制作Ⅱ	進路に合わせてそれぞれ制作	
	13	作品提出	制作物の提出(期末扱い)	
	14	作品フィードバック	前期制作物の発表、提出、レビュー	
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 				

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルコンテンツ制作実習Ⅳ		指導担当者名	三上 洋平	
実務経験	有	ゲーム制作業界、CG制作業界で5年以上の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科4年	
授業方法	講義:	演習:	実習:	○	実技:
年間時間数	588 時間		週時間数	21 時間	
学習到達目標	・各自希望業種に向けた作品集(ポートフォリオ)の完成を目標とする。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	2	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	3	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	4	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	5	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	6	ポートフォリオ用作品制作Ⅲ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	7	進捗確認	作品について合評会		
	8	ポートフォリオ用作品制作Ⅳ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	9	ポートフォリオ用作品制作Ⅳ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	10	ポートフォリオ用作品制作Ⅳ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	11	ポートフォリオ用作品制作Ⅳ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	12	ポートフォリオ用作品制作Ⅳ	進路に合わせてそれぞれ制作		
	13	作品提出	制作物の提出(期末扱い)		
	14	作品フィードバック	前期制作物の発表、提出、レビュー		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	AI概論		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科4年	
授業方法	講義: ○		演習:	実習:	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	近年注目されている「人工知能(AI)」について、基礎知識、しくみについて学習する。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション, 第1章	AIの概要(人工知能:AIの定義、研究範囲、得意分野など)		
	2	第2章①	AIの歴史(第1次~第3次AIブーム)		
	3	第2章②, 定期試験	様々なAIとこれからのAI		
	4	第3章、第4章	AI分野の問題、AIの関連知識		
	5	第5章	機械学習		
	6	定期試験, 第6章	深層学習		
	7	第7章	深層学習の種類		
	8	第8章①	産業への応用、AI社会の実現に向けて		
	9	第8章②	産業への応用、AI社会の実現に向けて		
	10	定期試験, 第9章	知的財産権		
	11	第10章①	基礎数学		
	12	第10章②	基礎数学		
	13	【期末模擬問題】	各章の復習のためのテスト		
	14	【前期期末試験】	全体を範囲として期末試験		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					

授業計画(シラバス)

科目名	AI概論		指導担当者名	大槻 晃士	
実務経験	有	CG制作会社で3DCG制作担当、その後フリー含め10年の経験			
開講時期	通年	28ターム	対象学科学年	ゲーム・CG系学科4年	
授業方法	講義:	○	演習:	実習:	実技:
年間時間数	84 時間			週時間数	3 時間
学習到達目標	近年注目されている「人工知能(AI)」について、基礎知識、しくみについて学習する。				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果による評価の他、出席状況、授業課題としての制作物、レポート等の提出状況を点数配分し、100点満点で評価していく。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は「A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)」の4段階とする。A、B、Cの評価は合格とし、D評価の場合は不合格とする。上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する。</p>				
使用教材	・制作ツール				
授業外学習の方法	自宅での実習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後期	1	オリエンテーション, 模擬問題	模擬問題回答と解説		
	2	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	3	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	4	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	5	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	6	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	7	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	8	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	9	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	10	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	11	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	12	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	13	模擬問題	模擬問題回答と解説		
	14	【後期期末試験】	全体を範囲として期末試験		
<p>履修上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ・対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施 					